取扱説明書

このたびは　JM　エアーガンキットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。
その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	人が障害を負う可能性及び物的障害の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

記号は、気をつける必要があること（注意）を表しています。

記号は、してはいけないこと（禁止）を表しています。

記号は、しなければならないこと（義務）を表しています。

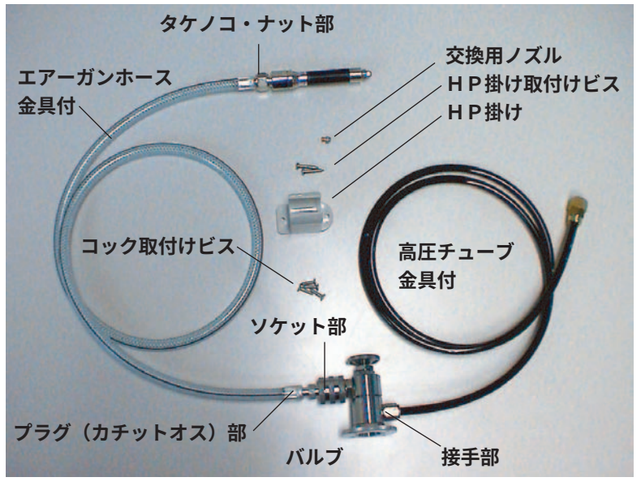
警告

- エアーガンを人または火（炎）に向けて使用しないでください。
  重大事故の原因となることがあります。
- 空気以外のガス・液体は絶対に使用しないでください。
  重大事故の原因となることがあります。　（エアーブロー）

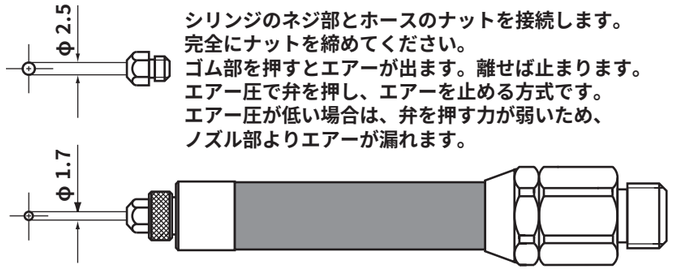
注意

- **エアー配管は無負荷状態（圧力０）で行ってください。**
  チューブが暴れ、ケガの原因となることがあります。
- 空気圧は０.２Mpa～０.６MPa（２.０４Kgf/㎠～６.１２Kgf/㎠）の範囲でご使用ください。
  ケガの原因となることがあります。
- 火気の近くで使用しないでください。
  変形・溶解の原因になることがあります。
- 製品の基本構造や性能・機能に関わる分解・改造は行わないでください。
- ゴム部分を必要以上に曲げないでください。
  ゴム部分に亀裂等が発生することがあります。

■ＨＰ掛けについて
付属のタッピングネジで固定します。
シリンジを上から差込んで、保持します。



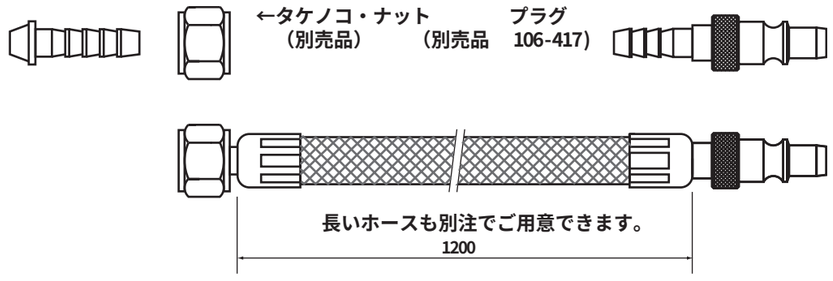
■シリンジについて



シリンジのネジ部とホースのナットを接続します。
完全にナットを締めてください。
ゴム部を押すとエアーが出ます。離せば止まります。
エアー圧で弁を押し、エアーを止める方式です。
エアー圧が低い場合は、弁を押す力が弱いため、
ノズル部よりエアーが漏れます。

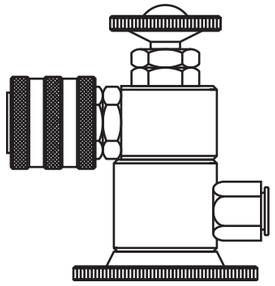
夜間等使用しない場合はバルブを閉めてください。

■ホース金具付きについて

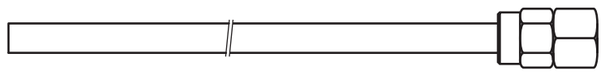


プラグをバルブ（ソケット）より外す場合は、
①バルブを閉めて、エアーの供給を止めます。
②シリンジを操作して、ホース内の残圧を０にします。
③バルブのソケット部を内側に押して、ソケットより外します。
プラグをバルブ（ソケット）に取り付ける場合は、
①バルブを閉めて、エアーの供給を止めます。
②プラグをソケットに差し込みます。
バルブのソケット部にプラグが差込んでいない場合、バルブを開放しても、エアーはソケット部より漏れません。

■バルブについて
付属のタッピングネジで固定してください。
ソケット部は３６０°回転します。



■高圧チューブ金具付について
金具の付いていない方を、バルブの接手に奥まで押しこんでください。
取り外す場合はエアー残圧を無くした上、接手のリングを押して、チューブを引き抜いてください。
金具はＯリング付ＰＦ１／４ネジです。エアー立ち上りに応じて、接続金具を選定してください。



■構成部品（単品コードＮｏ．）
- **●エアーガンキット　シリンジ（１０６－４１４）**
  交換用ノズル付・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
- **●エアーガンキット　バルブ（１０６－４１３）・・・１**
- **●バルブ　取り付け用タッピングネジ**
  （短いネジ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
- **●エアーガンキット　ホース**
  金具付（１０６－４１５）・・・・・・・・・・・・・１
- **●エアーガンキット　高圧チューブ**
  金具付（１０６－４１８）・・・・・・・・・・・・・１
- **●エアーガンキット　ＨＰ掛け（１０６－４１２）・・１**
- **●ＨＰ掛け　取り付け用　タッピングネジ**
  （長いネジ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

先端ノズルは２種類あります。
使用目的に応じて交換してください。
ネジ式です。ノズルを回転させて着脱します。
エアー消費量は、右図を参照にしてください。
エアー消費量を下げれば、コンプレサーの負担も軽く、省エネルギーになります。